

# JR東海労なごや

2012年11月12日 No. 927  
 JR東海労名古屋地方本部  
 発行者：山田哲也  
 編集者：堀部肇

## 増益分はリニア建設費か？

過去最高の純利益を上げながら年末手当は  
 昨年比0.05ヶ月分の上乗せしかないのか（怒）！

会社はこれまでダイヤ改正、社員運用効率化、休日出勤、さらには勤務明けでの入浴、ポケット時刻表の制限、配布用時刻表の冊子廃止、山間線区駅の簡易委託及び無人化等を様々な施策を押しつけ、労働強化と旅客サービスの低下、切り捨てを社員の犠牲により乗り切ってきたのです。結果がでたならば社員に還元することが大切である。

The collage contains several news snippets:

- JR3社、増収増益** (12版): JR東海は前年比1.8%増の売上と、0.9%増の純利益を上げた。これは、ダイヤ改正による客増と、山間線区駅の簡易委託によるコスト削減が主な要因と見られる。
- 純利益41%増に上方修正** (12版): JR東海は10月13日の決算で、前年比41%増の純利益を上げた。これは、ダイヤ改正による客増と、山間線区駅の簡易委託によるコスト削減が主な要因と見られる。
- JR東海 中間業績最高** (7版): JR東海は10月13日の決算で、前年比1.8%増の売上と、0.9%増の純利益を上げた。これは、ダイヤ改正による客増と、山間線区駅の簡易委託によるコスト削減が主な要因と見られる。

## 社員の努力と苦勞に報いてこそ、働きがいのある会社だ！

しかし、会社は高額な役員報酬は問題にせず、世間相場、安定的支給などを口実に年末手当を低く抑え込んできたのです。

職場の皆さん、新しい等級へ昇格はしない、昇給額は減っていく、労働強化がますます進む現状の中で、利益を上げたらしっかり要求をしよう。